



平成24年12月期 第2四半期決算短信 (日本基準) (連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 東海汽船株式会社

コード番号 9173 URL <http://www.tokaikisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 潤一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 横田 清美

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

TEL 03-3436-1135

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	5,117	9.2	△77	—	△14	—	△38	—
23年12月期第2四半期	4,688	△3.0	△407	—	△357	—	△296	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △32百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △303百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△1.75	—
23年12月期第2四半期	△13.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	7,423	3,135	40.6
23年12月期	7,462	3,168	41.0

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 3,011百万円 23年12月期 3,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は12月31日を期末配当基準日と定めておりますが、現時点では期末配当予想額は未定であります。

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	3.1	750	61.4	790	61.7	470	262.5	21.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期2Q	22,000,000 株	23年12月期	22,000,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	42,680 株	23年12月期	42,557 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期2Q	21,957,412 株	23年12月期2Q	21,957,889 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・期末の配当予想につきましては、今後も経営環境に不確定要素が多いため、現段階では前回発表と同様に未定とさせていただきます。なお、予想額は当社最多客期の第3四半期以降、状況を見極め速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要や個人消費の持ち直しが内需を支え、景気は緩やかな回復傾向が見られましたが、長引く円高や原油高、欧州の債務危機を背景とした海外経済の下振れ懸念など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、旅客部門は1月下旬より3月中旬にかけて開催された大島のビッグイベント「椿まつり」の集客活動に取り組むとともに、ジェットフォイルのチャーター営業および臨時航路の充実などの営業強化に注力しました。貨物部門では各島工事関連品目の輸送動向を注視し、引き続き集荷に遺漏がないように努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高51億1千7百万円（前年同期46億8千8百万円）、営業損失7千7百万円（前年同期営業損失4億7百万円）、経常損失1千4百万円（前年同期経常損失3億5千7百万円）となりました。これに税金費用などを計上した後の四半期純損失は3千8百万円（前年同期純損失2億9千6百万円）となりました。

なお、当社グループは、主力の海運関連事業の旅客部門で、乗船客が夏場の多客期に集中するため、利益が下半期に偏る傾向にあります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《海運関連事業》

主力の海運関連事業の旅客部門は、大島の「椿まつり」をはじめとして各島で開催されたイベントの集客に注力するとともに、インターネット商品の販売強化を図りました。また、前年同期の震災による落ち込みからの回復もあり、全航路での旅客数は27万3千人（前年同期25万2千人）となりました。一方、貨物部門では、貨物取扱量が前年並となり、全島で16万2千トン（前年同期16万2千トン）となりました。

この結果、当事業の売上高は38億1千2百万円（前年同期35億9千3百万円）、費用面で船舶関係費用の減少があり、営業利益は2億3千2百万円（前年同期営業利益4千2百万円）となりました。

《商事料飲事業》

当事業の中心となる商事部門は、島嶼向けセメントおよび燃料油の販売が好調に推移し、売上高は7億1千9百万円（前年同期6億8千9百万円）となりました。一方、原油価格の上昇による輸送コストの増加があり、営業利益は2千6百万円（前年同期営業利益2千6百万円）となりました。

《レストラン事業》

東京湾周遊のレストランシップ事業は、前年同期の震災による落ち込みから回復し、また東京ゲートブリッジの開通による新名所効果も奏功し、全クルーズでの利用客数は4万5千人（前年同期3万5千人）、売上高は3億9千9百万円（前年同期2億5千4百万円）、営業損失は6千7百万円（前年同期営業損失1億5千4百万円）となりました。

《ホテル事業》

大島温泉ホテル事業は、新たに地の食材を使用した廉価商品を造成し集客に努めた結果、宿泊客・温泉利用客ともに好調に推移し、売上高は1億4千2百万円（前年同期1億8百万円）、営業利益は8百万円（前年同期営業損失0百万円）となりました。

《旅客自動車運送事業》

当事業の中心となる大島島内におけるバス部門は、震災後の観光客の落ち込みから回復しております。また、定期路線バスは大島町からの継続的な支援を受けております。売上高は1億4千1百万円（前年同期1億2千7百万円）、営業利益は1千2百万円（前年同期営業利益4百万円）となりました。

《その他の事業》

ジェットフォイル3隻の整備を中心とした船舶修理事業です。売上高は8千1百万円（前年同期7千8百万円）、また、整備体制の効率化による費用減もあり、営業利益は5百万円（前年同期営業損失7百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千8百万円減少しました。その主な要因は、受取手形及び営業未収金などの流動資産が5千5百万円増加したのに対し、船舶等の減価償却などにより固定資産が9千4百万円減少したことなどによるものです。

負債は4億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少しました。その主な要因は、支払手形及び営業未払金が1億1千1百万円増加したのに対し、退職給付引当金が1億2千7百万円減少したことなどによるものです。

純資産は3億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千2百万円減少しました。その主な要因は、利益剰余金が3千8百万円減少したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億5千1百万円のキャッシュ・イン（前年同期1億5千3百万円のキャッシュ・アウト）となりました。その主な要因は、資金の増加として非資金損益項目の減価償却費1億8千7百万円、仕入債務の増加1億1千1百万円などが、退職給付引当金の減少1億2千7百万円などを上回ったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億5百万円のキャッシュ・アウト（前年同期1億7千6百万円のキャッシュ・アウト）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億1千5百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億円のキャッシュ・アウト（前年同期9千万円のキャッシュ・イン）となりました。その主な要因は、借入金の返済などによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ5千4百万円減少し、20億7百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国の経済については、引き続き円高や原油価格の動向、欧州の債務危機を背景とした海外経済の下振れが懸念され、先行きは不透明な見通しであります。このような状況の下、当社グループは基本理念である「安全運航」の徹底と「良質のサービスの提供」に努めるとともに、一層の営業の拡充およびコストの削減を引き続き図ってまいります。

なお、平成24年12月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、概ね計画どおり推移すると予想しており、平成24年2月14日公表の数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,347	2,293
受取手形及び営業未収金	1,072	1,119
商品及び製品	57	47
原材料及び貯蔵品	231	231
繰延税金資産	16	97
その他	156	149
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	3,881	3,937
固定資産		
有形固定資産		
船舶	11,894	11,925
減価償却累計額	△10,948	△11,064
船舶（純額）	946	860
建物及び構築物	1,173	1,175
減価償却累計額	△1,037	△1,032
建物及び構築物（純額）	135	142
土地	309	309
その他	1,148	1,184
減価償却累計額	△980	△996
その他（純額）	167	187
有形固定資産合計	1,559	1,500
無形固定資産	153	146
投資その他の資産		
投資有価証券	1,211	1,248
繰延税金資産	496	436
その他	295	291
貸倒引当金	△135	△138
投資その他の資産合計	1,867	1,839
固定資産合計	3,580	3,486
資産合計	7,462	7,423

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	831	942
短期借入金	1,334	1,266
未払法人税等	74	20
賞与引当金	27	28
その他	480	669
流動負債合計	2,748	2,927
固定負債		
長期借入金	82	50
リース債務	6	5
退職給付引当金	1,240	1,113
役員退職慰労引当金	89	95
特別修繕引当金	126	95
固定負債合計	1,545	1,360
負債合計	4,294	4,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100	1,100
資本剰余金	693	693
利益剰余金	1,218	1,180
自己株式	△8	△8
株主資本合計	3,003	2,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	46
その他の包括利益累計額合計	55	46
少数株主持分	109	124
純資産合計	3,168	3,135
負債純資産合計	7,462	7,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高		
海運業収益	3,579	3,798
その他事業収益	1,109	1,319
売上高合計	4,688	5,117
売上原価		
海運業費用	3,194	3,194
その他事業費用	1,266	1,371
売上原価合計	4,461	4,566
売上総利益	227	551
販売費及び一般管理費	635	628
営業損失(△)	△407	△77
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	6
持分法による投資利益	31	52
賃貸料	7	7
その他	18	7
営業外収益合計	66	74
営業外費用		
支払利息	8	7
その他	7	4
営業外費用合計	16	11
経常損失(△)	△357	△14
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2
国庫補助金	—	10
特別利益合計	—	12
特別損失		
貸倒引当金繰入額	9	—
固定資産除却損	7	10
固定資産圧縮損	—	10
特別損失合計	16	21
税金等調整前四半期純損失(△)	△374	△22
法人税、住民税及び事業税	6	15
法人税等調整額	△95	△15
法人税等合計	△88	0
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△285	△23
少数株主利益	10	14
四半期純損失(△)	△296	△38

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△285	△23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△17	△9
四半期包括利益	△303	△32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△314	△47
少数株主に係る四半期包括利益	10	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△374	△22
減価償却費	178	187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	89	△127
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	6
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△12	△30
有形固定資産除却損	8	11
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
有形固定資産圧縮損	—	10
受取利息及び受取配当金	△9	△7
支払利息	8	7
持分法による投資損益(△は益)	△31	△52
売上債権の増減額(△は増加)	△68	△46
たな卸資産の増減額(△は増加)	1	9
仕入債務の増減額(△は減少)	388	111
その他	△100	159
小計	88	220
利息及び配当金の受取額	9	6
利息の支払額	△9	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△241	△69
営業活動によるキャッシュ・フロー	△153	151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5	△4
定期預金の払戻による収入	26	3
有形固定資産の取得による支出	△174	△115
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△10	△1
貸付けによる支出	△25	△19
貸付金の回収による収入	12	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200	50
短期借入金の返済による支出	△50	△100
長期借入金の返済による支出	△58	△49
リース債務の返済による支出	△1	△1
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	90	△100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239	△54
現金及び現金同等物の期首残高	1,983	2,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,743	2,007

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運 関連事業	商事 料飲事業	レストラン 事業	ホテル 事業	旅客自動車 運送事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,579	623	253	107	124	—	4,688	—	4,688
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14	65	0	0	3	78	163	△163	—
計	3,593	689	254	108	127	78	4,851	△163	4,688
セグメント利益 又は損失(△)	42	26	△154	△0	4	△7	△87	△319	△407

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△319百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△317百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運 関連事業	商事 料飲事業	レストラン 事業	ホテル 事業	旅客自動車 運送事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,798	642	397	141	137	0	5,117	—	5,117
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14	77	1	0	4	81	179	△179	—
計	3,812	719	399	142	141	81	5,296	△179	5,117
セグメント利益 又は損失(△)	232	26	△67	8	12	5	216	△294	△77

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△294百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△292百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他

(重要な訴訟事件等)

小笠原航路に就航予定だった超高速船テクノスーパーライナーの傭船契約解除が債務不履行に当たるとして、船主(株)テクノ・シーウェイズが当社持分法適用関連会社である小笠原海運(株)に対して、損害賠償訴訟を東京地方裁判所に提起していた件については、平成22年9月21日、同裁判所より同社に賠償金20億円および遅延損害金の支払を命じる判決がなされました。

当判決に対し、同年10月4日に小笠原海運(株)が東京高等裁判所に控訴し、現在係争中であります。